

5月11日から、メトロポリタン自治大学イスタパラパキャンパス (Universidad Autónoma Metropolitana Unidad Iztapalapa 以下 UAM) ではオンライン授業が始まった。全9週の授業が全てオンラインで行われることになる。今学期授業終了日は7月10日、その後に1週間のテスト週間に入る。

今回登録した科目は3つ。

- ・ Historia de la Música (音楽史)
- ・ Antropología Simbólica (象徴人類学)
- ・ Cine etnográfico (民族誌映画)

すべて UAM の文化人類学部の授業になる。

メキシコの学部の授業は基本的に1週間に4時間授業がある(詳しくは2月号のレポートを参照)ため、今までの学期は控えめに、多くても2つまでの履修に抑えていたのだが、今回は履修登録で担当者との間に齟齬が生じ、危うく4科目登録するところだった。3科目でもかなり多く、毎日地獄。

4月頭から始まる予定だった新学期は一ヶ月遅れての再開となった。UAM への移動時間は余裕を持って片道90分をみていたので週3回登校していた前の学期と比べると、かなりの時間が浮いたことになる。だが、それ以上にオンライン授業期間の課題の量が多く、結果的に全く時間が足りない。課題は全ての授業で毎週が出されており、その大体が参考文献を読んで設問に回答するものだ。参考文献の量は週によって違うが、一授業につき30ページ前後で設問が5個といった感じ。Cine Etnográfico と Historia de la Música の授業は参考文献に加え映像資料もある。

課題提出や情報共有などは Google Classroom を使って行われている。これへの参加に、日本の大学のメールアドレスで登録しようとしたのだが、なぜか gm.ac.jp のアカウントは使えなかった。Gmail.com のドメインしか登録できな

いのかもしれない。

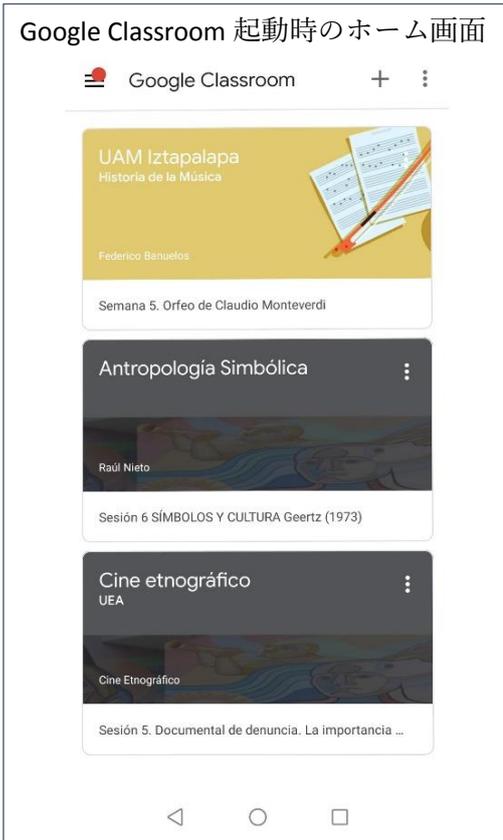
授業をする際には Zoom が使われている。オンライン授業であるためか、Historia de la Música と Antropología Simbólica の授業は週1回2時間の授業があるだけなので、本来の半分である。(その分課題が増やされているのでは、とも考えられるが。) Cine etnográfico は2週に1回2時間の授業があるが、前回の授業は Zoom の調子が悪く、Jitsi というサービスも利用した。授業によるが、基本的にマイクミュートのカメラオンでの出席となっている。

生徒が入室し終わるのを待ってくれる先生方ばかりなので、大体授業開始10分後くらいからで授業が始まり、時間ぴったりくらいに終わる。2時間座りっぱなしになるので、事前に飲み物や必要なものを身の回りに備えておいて、授業に参加している。

使用機器は iPad の第7世代。大きな不都合はないが、やはり授業中に別窓で、授業のワードファイルやパワーポイントファイル、参考文献などを開いて参加したいので、パソコンがあればもっと便利だっただろうな、と思う。iPad の場合、Zoom アプリは画面分割 (split view) が対応していないようで、Slide Over (1画面で2つのアプリを呼び出す機能) は使えるのだが Slide Over の使用中は Zoom のビデオカメラがオフになっている気がするので、なるべく使わないようにしている。

メキシコ生活も残りわずか。課題で追われがちだし、コロナもまだ収束の兆しを見せず、外出する機会は少ないが、最近では家からスーパーまでの道すがら、壁を撮るのにハマっている。メキシコの壁は本当に綺麗なもので、観光地に行けないとしても、街の風景を楽しんでほしいし、特にキラキラとした日常がなくても毎日は充実するし幸せである。

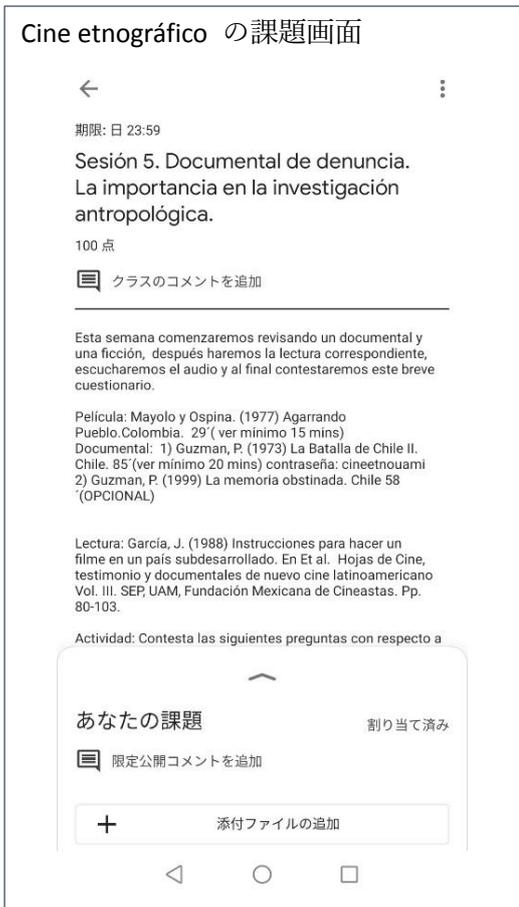
Google Classroom 起動時のホーム画面



Antropología Simbólica を開くとこんな感じ



Cine etnográfico の課題画面



いくつかの端末に Google Classroom をインストールしてあるが、通知が来るのが便利。



インスタほぼ毎日投稿。メキシコの風景 UP しています。

Instagram @mio.mexico

Note はじめました@mio.mexico